

# 特別企画 2018年8月25日-26日

## ＜地域社会・多文化分野の制度の動向：1単位分＞

### 外国ルーツ者支援の基本

共催 公益社団法人東京社会福祉士会 NPO 法人エンパワメント

時 間	1日目 8月25日(土)	講 師
9:20～ 12:40	1. 外国人支援に関わる課題と基盤 (1) 社会福祉士養成における課題提起～都内地域包括支援センターより～ ・国籍と文化差、社会保障の実際、家族内多文化家族	高橋幸枝氏 (都内地域包括支援センター)
	(2) 在留資格入門 ・在留資格の特徴と都道府県、国籍等の在留実態、日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒、シングルマザーの事例から見る資格変更の困難性等	米川和雄氏 (帝京平成大学 講師)
	(3) 社会的孤立状態にある外国人の実情と課題 ・外国人の社会保険の適用、DV被害における福祉課題の差	南野奈津子氏 (東洋大学 教授)
13:30～ 17:40	2. 行政における取り組み (1) 東京都の外国人の特徴、課題、施策	引揚信治氏 (東京都生活文化局都民生活部多文化共生推進課 課長)
	(2) 新宿区における取り組みと展望	内野佳子氏 (新宿区地域振興部多文化共生推進課 課長)
	(3) 児童相談所・児童養護施設の取り組みと展望 ・オーバーステイに対する制度と支援の実際、区児童相談所の展望	土橋俊彦氏(予定) (前児童相談所 所長)
	(4-1) 少年院における処遇：外国人非行少年の更生 ※少年院とはなにか、久里浜少年院の特徴、外国人少年の実態	角川純一氏(久里浜少年院統括専門官) / 坂田恵美氏(少年院ソーシャルワーカー)
	(4-2) 外国人非行少年の社会復帰におけるソーシャルワーク	
時 間	2日目 8月26日(日)	講 師
9:30～ 11:40	1. DV支援の取り組みと実際 (1) DV被害者支援の観点：調停・面会交流・行方不明者届・住民票等 (2) 子どもをめぐる紛争：ハーグ条約実施法、DV被害者支援の留意点	打越さく良氏 (東京第2弁護士会)
12:30～ 17:30	2. 地域における外国籍児童家庭支援の実際と課題 (1) 神奈川県教育委員会との協働事業	高橋清樹氏(NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ)
	(2) 外国ルーツ者支援：子どもから若者への支援 ・自発の有無による来日と若者の状況、子ども・青年の発達段階や課題、国籍と高校進学率、就労を踏まえた支援、外国人散在地域への学習支援	平野成美氏 NPO 法人青少年自立援助センターYSC-G-School
	(3) 都内主任児童委員・子ども食堂における包括的支援 ・主任児童委員と子ども食堂の取り組み、国籍による家庭的特性所感 ・外国人支援の所感：両親とも外国籍の場合、父親が日本人、母親が外国人の場合、母子家庭で、母親が外国人の場合	望月弘子氏 大島登志子氏 (都内主任児童委員・子ども食堂)
	(4) 保育園における多国籍の児童家庭支援の取り組み ・桜本保育園の特徴、日本文化と外国文化の配慮 ・子どもへの支援方法、保護者への支援方法、指導者側の偏見	朴 栄子氏 (川崎市桜本保育園)
	(5) 小学校における人権教育と包括的合理的配慮(社会的包摂)の実際 ・外国人、貧困者(ホームレス)、LGBT等様々な子どもを包括した特別支援教育の観点、外国ルーツ者の家族に対する学校教育での取り組み	宮生和郎氏 (横浜市小学校統括校長)
17:40迄	3. 演習：振り返りと修了証	米川氏

※本研修は、緊急対応等により講師・研修内容が変更される可能性があります。

※制度の動向研修として内容を設定していますが、単位認定は申請後、認定機構の判断によります。

- ◆対象 社会福祉士・精神保健福祉士、または地域支援等に携わる方 ◆事前課題 申込ページ確認にて
- ◆募集 50名 ◆会場 JR神田駅・中野駅近辺会議室等、東京駅・大手町駅より30分程度
- ◆費用 1日1万円(日本社会福祉士会会員2日間1万8千円)  
テキスト 3888円 米川和雄編著「スクールソーシャルワーク実践技術」北大路書房
- ◆申込 URL <http://empowerment.or.jp/2018/03/14/tokyo/>
- ◆会場 中央大学駿河台記念館(御茶ノ水駅徒歩4分)東京都千代田区神田駿河台3-11-5 TEL 03-3292-3111
- ◆質問 info@empowerment.or.jp **ご質問はお気軽にメールにてどうぞ(共催先NPOが担当)**

**学校法人 YMCA 健康福祉専門学校** 担当 浦上・奥田・米川・石川

住 所：〒243-0018 神奈川県厚木市中町4-16-19 電 話：046-223-1441